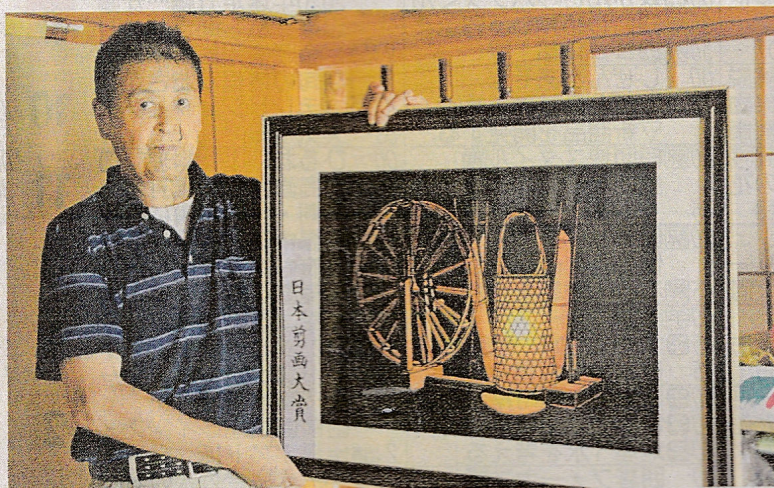


日本剪画展 最高賞に輝く

日本剪画大賞の「光をこぼす」を手に
ほほ笑む千葉さん



日本剪画協会主催の「日本剪画美術展」で、

赤荻・千葉さん 灯籠の光表現

一関市赤荻字月町の最高賞の日本剪画大賞
千葉利英さん(65)は、に輝いた。受賞作は竹
まざまなプロが出演し 「光をこぼす」は、

「日本剪画美術展」で、出来た灯籠などをモチーフにした「光をこぼす」と言っている。信じてもらえない思いだ」と言っている。剪画は、一枚の黒い和紙を切り抜いて台紙に張って作るアート。千葉さんは、10年ほど前から趣味として取り組んでいる。市内に教室が無かったため、画集や専門書を読んで独学で技術を磨いた。何十本ものカッターを使い分け、自室でジャスミンを流しながら創作活動に打ち込む。

千葉さんは2012年から同展のテーマ、自由画部門に作品を出展している。一次選考を通過した両部門合わせて計91作品の中から、自由部門に応募した同作が唯一の大賞に輝いた。

同市蔵美町の喫茶店・蔵ビノキオで見つけた糸車と、灯籠に着想を得て制作。同じモチーフで、3カ月ほどかけて複数作った中から厳選した1枚を応募した。「灯籠から拡散する光の向きや、影の伸び方を表現するのに苦心した」と振り返る。千葉さんは月に1回市内で教室を開講。「地域の人に教える楽しさがある。剪画をたしなむ人が増えてくれれば」と期待する。秋には作品展を計画しているといい、「作りたいものがどんどん増えている。作品をいろいろな人に見てもらいたい」と、創作意欲を新たにしている。



岩手日日新聞社

一関市南新町 60

郵便番号 021-8686

編集局	0191 (26) 4204
営業局	0191 (26) 5111
販売事業局	0191 (26) 5112
総務局	0191 (26) 5114
盛岡支社	019 (654) 7730
東京支社	03 (3524) 8130
仙台支社	022 (267) 2253
平泉支局	0191 (46) 5104
千厩支局	0191 (53) 2233

©岩手日日新聞社 2015
<http://www.iwanichi.co.jp/>